

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和2年12月3日（木）

2 確認箇所

- ・地下水バイパス一時貯留タンクエリア
- ・サブドレン一時貯水タンクエリア 他

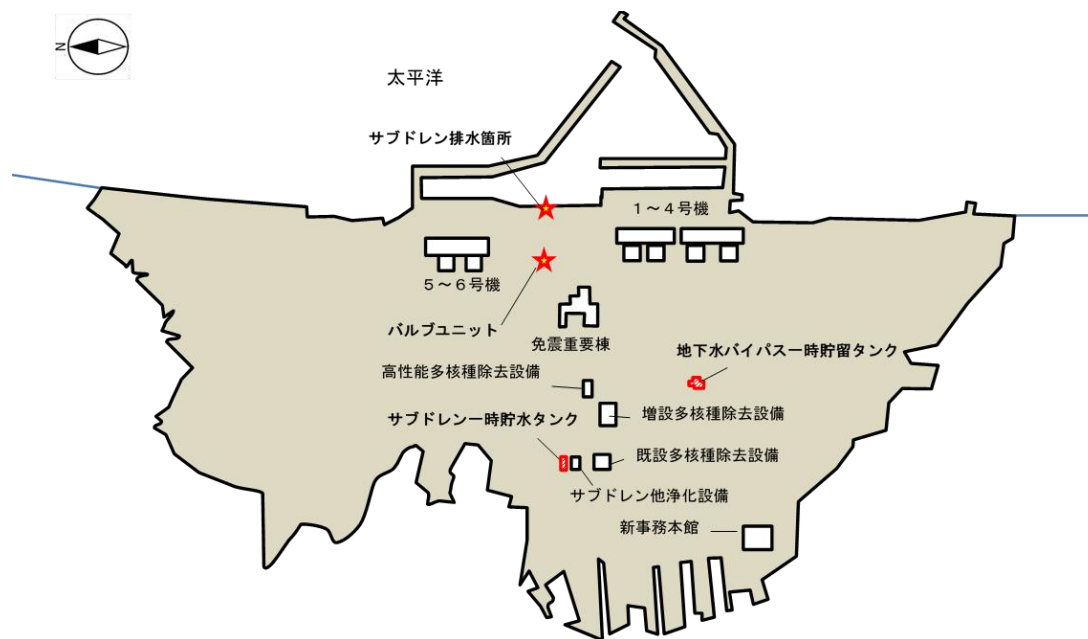
3 確認項目

- (1) 地下水バイパスの排水状況
- (2) サブドレン処理水の排水状況

4 確認結果の概要

福島第一原子力発電所では、原子炉建屋等に流入する地下水量を低減するため、地下水バイパスやサブドレン他水処理設備などの施設を設置し、運用目標に適合した水質の地下水を定期的に海洋へ排水している。（図1）

今回、地下水バイパス及びサブドレン一時貯留タンクから排水が予定されていたことから状況を確認した。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図

(1) 地下水バイパスの排水状況について

地下水バイパス一時貯留タンクは全9基からなり、3基毎にグループ1から3までに分けられており、今回はグループ2から排水が行われた。(写真1)

- ・東京電力社員が所定の手順に沿って排水を行った。
- ・排水を行わないグループ1及び3の排水ライン弁が「全閉」となっていることを目視確認した後、グループ2の排水ライン弁を開放した。(写真2)
- ・その後、免震重要棟中央制御室に報告し排水が行われた。(写真3)
- ・排水開始後、施設に異常は確認されなかった。



(写真1)

地下水バイパス一時貯留タンクエリアの外観（東側から撮影）



(写真2-1)

排水しないグループ1及び3の排水ライン弁が「全閉」であることを確認



(写真2-2)

グループ2の排水ライン弁を開放



(写真3)
免震重要棟集中監視室に異常のない
ことを報告

(2) サブドレン処理水の排水状況について

サブドレン一時貯水タンクは全11基からなり、今回はこのうち1基（タンク（J））から排水が行われた。（写真4）

- ・排水の手順は（1）と同様で、排水予定のタンク（J）以外の排水ライン弁の「全閉」を確認した後で、タンク（J）の弁を開放した。（写真5）
- ・その後、免震重要棟中央制御室に報告し排水が行われた。（写真6）
- ・排水開始後、施設に異常は確認されなかった。



(写真4)
サブドレン一時貯水タンクエリアの
外観（南東側から撮影）



(写真5)
タンク（J）の排水ライン弁開放状況



(写真6)
サブドレン処理水排水口の状況
（異常は確認されなかった。）

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。